

子供を中心に流行する感染症について

1 感染症名、主な症状等

	ヘルパンギーナ	RSウイルス感染症	手足口病	咽頭結膜熱（プール熱）
主な症状	<ul style="list-style-type: none"> ● 突然の高熱で発症し、口の奥の方に水疱や潰瘍ができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 発熱、咳、鼻水、咽頭痛、頭痛、倦怠感（元気がない等）など、かぜに似た症状です。 ● 肺炎を起こすなど重症化することもあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 口の中、手のひら、足の裏などに、発しんや水疱ができます。あまり高い熱は出ません。 ● 重症化はまれですが、合併症として急性脳炎や心筋炎があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 発熱、咽頭炎（のどのはれ）、結膜炎（目の充血）などの症状があらわれます。
原因ウイルス	エンテロウイルス属のウイルス（コクサッキーウイルス A 群、エンテロウイルス 71 型等）	RS ウイルス（Respiratory Syncytial Virus）	エンテロウイルス属のウイルス（コクサッキーウイルス A 群、エンテロウイルス 71 型等）	アデノウイルス
感染経路	<ul style="list-style-type: none"> ● 患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスを吸い込むことによる<u>飛まつ感染</u> ● 水疱の内容物や便の中のウイルスが、手を介して口や眼などの粘膜に入ることによる<u>経口及び接触感染</u> ● 咽頭結膜熱は、感染力が強く、プールや温泉施設などでの感染もあることから「プール熱」とも呼ばれています。 			
治療	<ul style="list-style-type: none"> ● つらい症状をやわらげる対症療法が中心です。 ● 咽頭結膜熱は、眼の症状が強い場合は眼科での治療を行います。 ● ワクチンや特効薬はありません。 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 食事や水分がとりにくくなり、脱水症状をおこすことがあります。水分補給に努め、柔らかく、刺激の少ない食事を工夫しましょう。 ● ぐったりしている、呼びかけに対する反応が鈍い、意味不明の言動がみられるなどの症状が現れた場合はすぐに受診しましょう。 ● 特にRSウイルス感染症については、小さなお子さんにかぜのような症状が見られ、熱が38度以上に上がる、呼吸が浅く速くなる、ゼイゼイと咳が続く、痰が詰まる、急にぐったりするなどの様子が見られたときは、早めに医療機関を受診しましょう。 中でも、生後6か月未満の乳児や低出生体重児、心疾患、肺疾患、免疫不全のある方の場合は、重症化しやすいとされるため注意が必要です。 			

2 感染予防のポイント

- 手指衛生や咳エチケットなど、感染防止にこころがけましょう。
- お子さんに咳などの症状のある場合は、登校を見合わせるなど無理をさせないように配慮しましょう。
- 症状がおさまった後も、患者さんの便の中にはウイルスが含まれますので、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前には手洗いを心がけましょう。
- 保育所、幼稚園、学校などの集団生活では、タオルの共用は避けましょう。
- 先天性心疾患、慢性肺疾患などがある場合は、かかりつけ医に相談し、感染予防や病気にかかった場合の対応について、助言を受けておきましょう。